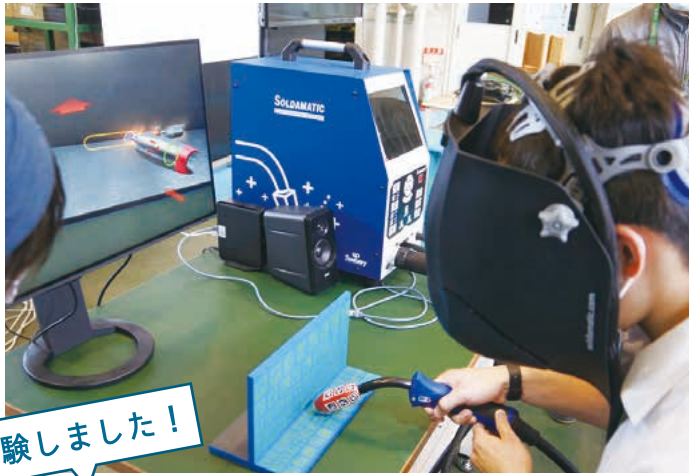


県立高崎産業技術専門校で モノづくりの楽しさに 触れてきました

群馬県内には製造業に従事している人が多いと、前号の取材で坂本昌之校長からお聞きして、当組合でも地域の金融機関として製造業への理解を深めたいと、新入職員6名が群馬県立高崎産業技術専門校のモノづくりの教育現場に伺いました。

同校では機械技術、溶接、住まい

づくり、塗装、自動車整備など、実際の工場等で用いられている設備を使った実習重視のカリキュラムで即戦力となる人材を育成しています。こうした現場に初めて触れ、AR（拡張現実）溶接機でリアルな溶接体験をするなど、またとない機会に視野を広げることができました。



体験しました！

AR（拡張現実）溶接機

カメラでとらえた現実の作業と溶接される材料をCGで合成することで、溶接する手の角度や手と材料との距離を数値で把握。実際の溶接に近い感覚でトレーニングができます。



レーザー加工機・タレットパンチ

板状の金属等にレーザー光線で穴をあけたり、切り取ったりする精密機械。レーザーの代わりに金型を用いるタレットパンチプレスや両方を組み合わせた複合機もあります。



マシニングセンタ

プログラムに従い工具(刃物)を回転させ、金属製品の平面や溝、穴などを加工。自動車部品加工業に多く導入され、1台2,000万円～2,500万円と高価。航空宇宙産業関連では複雑な形状の部品が加工できる5軸マシニングセンタの導入が進んでいます。

新入職員の声

- 中小の製造業で使用している機械設備について知ることができました。機械を操作するのは「人」で、一人一人の技術力、職人技を育てる人材育成の大切さを学ぶことができました。
- 機械設備は非常に高価ですが、モノづくりの現場について理解を深めれば、先入観なくご融資の相談などに乗れると思いました。
- 塗装システム科では、塗装をお肌の化粧品に例えて説明してもらい、身近なことからわかりやすく技術について知ることができてよかったです。



群馬県立高崎 産業技術専門校

〒370-1213
高崎市山名町1268
TEL：027-320-2221
FAX：027-347-1210
<https://takatech.ac.jp>

詳しくはHPを
チェック

